

列車とホームの隙間を またぐ際の旅客挙動

Passenger behavior in stepping over the gap
between trains and platforms

概要

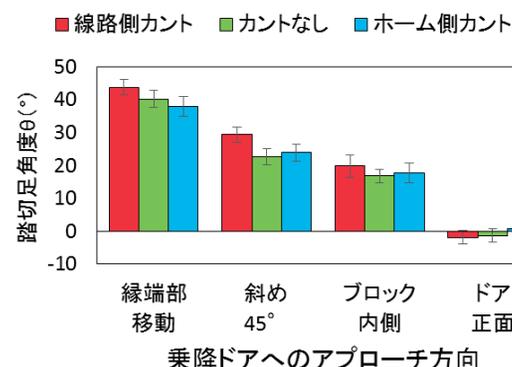
踏外しの防止につなげるため、列車とホームの隙間を模擬した実験装置で、のべ74人の乗降時の足運びを計測しました。

特徴

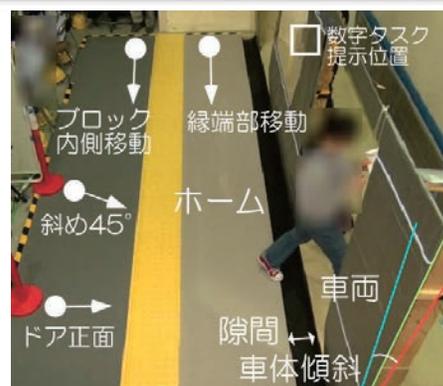
- 計測に基づき、踏外しに結びつくと考えられる足運びおよびその要因を整理しました。

用途

- 車両端まで寄ってから降車する、乗車時にはホーム縁端を移動して乗らない、など、お客様により安全な乗降行動をしていただくための資料として利用できます。



実験装置の例

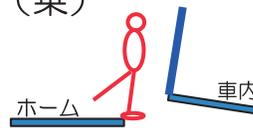


隙間の大きさ、車体傾斜角度、乗降ドアへのアプローチ方向（図中白丸）を変えて乗車行動を記録しました。

踏外しに結びつくと考えられる足運びとその要因

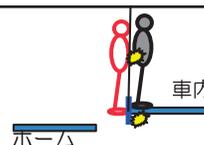
踏切足が前に出過ぎる（乗）

隙間が大きい
線路側に傾くカント



足が遮られる（乗・降）

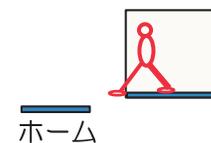
段差
混雑
前の人の急停止



※実験参加者のコメント等による推定

歩幅が不足する（乗・降）

隙間が大きい
車両端まで寄らない



足が斜めになる（乗・降）

ホーム縁端を歩いてきて乗る



※隙間に対する有効寸法が減少

有効寸法